KIORITZ

共立低温貯蔵庫

取 扱 説 明 書

型　式

COL71
COL141
COL211

― 目　次 ―

1．安全上のご注意…… 1 ページ
2．各部のなまえとはたらき…… 3 ページ
3．据付けるときには…… 4 ページ
4．お使いになる上でのご注意…… 5 ページ
5．運転操作…… 8 ページ
6．上手な使い方…… 9 ページ
7．お手入れの仕方……10ページ
8．修理・サービスを依頼する前に…11ページ
9．移動・移設されるときは……11ページ
10．処分されるときは……12ページ
11．保証について……12ページ
12．仕様……13ページ

⚠ 警 告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。

このたびは共立低温貯蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お買い上げいただいた貯蔵庫を長くご愛用いただくために取扱説明書をお読みになり、正しく使用していただきますよう、お願い申し上げます。

1．安全上のご注意

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ この取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

■ 注意事項は、「警告」「注意」とありますが、誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、その他で記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本文中の記号

- してはいけないことを示します。
- 守らなければならないことを示します。
- 触れてはいけないことを示します。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 製品を分解してはいけないことを示します。
- アース工事が必要です。

■ お使いになっている製品を譲渡されたり貸与されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

⚠ 警 告

- 製品を移動するときは、転倒に十分気をつけてください。転倒によるケガの原因になることがあります。
- 据付けは、販売店または資格のある専門業者に依頼してください。ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
- 据付け工事は、重量に十分耐えるところに確実に行ってください。強度不足や取付けが不完全な場合は、製品の転倒・落下により、ケガの原因になります。
- アース工事を行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
  （電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）
- 電源は専用コンセントを使用し、電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用、タコ足配線をしないでください。感電や発熱、火災の原因になります。

⚠ 警 告

屋外で使用しないでください。雨水のかかる場所でご使用されますと、漏電・感電の原因になります。

湿気の多いところや、水のかかり易い場所に据付けないでください。絶縁低下から漏電・感電の原因になります。

製品に直接水をかけたり、水を使って洗ったりしないでください。ショート、感電の原因になります。

濡れた手で電源プラグなどの電気部品には、触れないでください。またスイッチ操作をしないでください。感電の原因になることがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

漏電ブレーカーが作動した場合には、販売店または資格のある専門業者にご相談ください。無理な電源の復帰を行うと感電・火災の原因になります。

扉にぶら下がらないでください。扉の脱落や製品転倒によるケガまたは漏電・感電の原因になります。

揮発性、引火性のあるものは庫内に入れないでください。爆発や火災の原因になります。

専門業者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災などの原因になります。

製品の異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切ってください。異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。

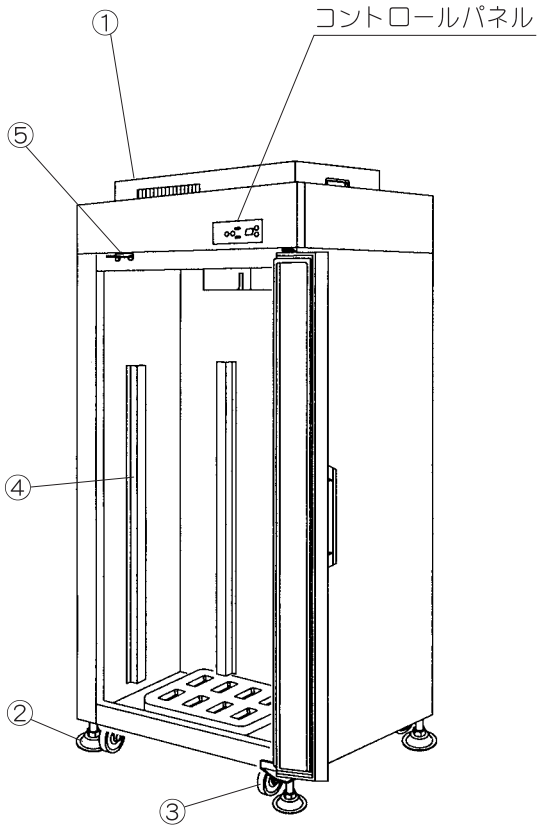
移設は、販売店または資格のある専門業者にご相談ください。据付け不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。

製品の使用を一時的に中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避け扉を密閉できないようにしてください。幼児が閉じ込められる原因になります。

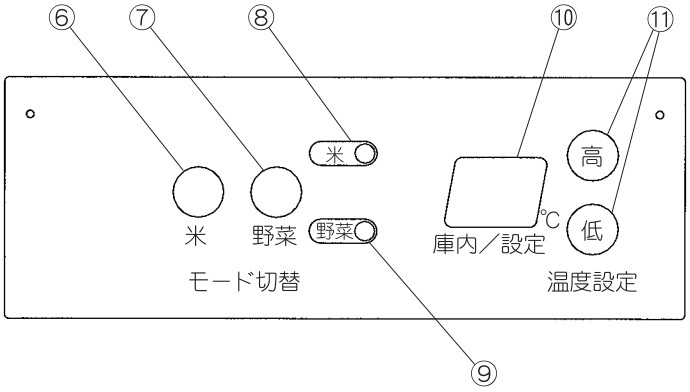
廃棄は専門の業者に依頼してください。放置しますと幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。

冷却ユニットに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認の上、運転してください。

2．各部のなまえとはたらき



コントロールパネル



① 冷却ユニット
この中に機械室があります。

② アジャスタ(脚)
本体を水平状態に調節してください。
14袋、21袋タイプについては背中側のアジャスタを庫内から調節できます。

③ キャスター
本体の移動の際に使用します。

④ 柱
玄米袋などを壁に密着させないためのものです。

⑤ カギザ
施錠するときに使用します。

⑥ 米モードボタン
米モード運転になります。
通常の玄米保管時に使用します。
2～20℃の範囲で1℃単位の設定ができます。

⑦ 野菜モードボタン
野菜モード運転になります。
2～20℃の範囲で1℃単位の設定ができます。

⑧ 米モードランプ
米モードの時に点灯します。

⑨ 野菜モードランプ
野菜モードの時に点灯します。

⑩ 温度表示
設定温度・庫内温度・異常表示・霜取を表示します。

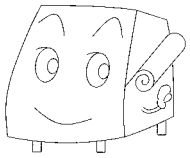
⑪ 温度設定スイッチ
庫内温度の設定を行います。

3．据付けるときには

据付けは、販売店または資格のある専門業者に依頼してください。ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

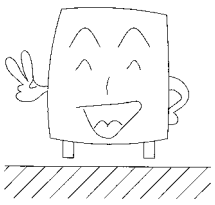
■ ビニル被膜を剥がしてください

運送途中の事故を防ぐための梱包を外し外装に貼ってある傷付き防止の薄いビニル被膜を剥がしてください。ビニルは簡単に剥げます。ビニルを貼ったまま長期間放置しておきますと、ノリ残りが発生し、のちのち剥げにくくなりますのでご注意ください。



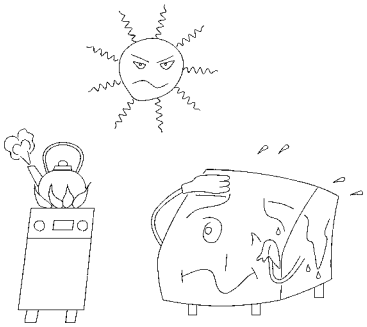
■ 据付けるときには

床面が平らで重量に十分耐えるところに水平になるように据付け、転倒防止の処置をしてください。強度不足や据付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。また、車両、船舶でのご使用はできませんので必ず静止した状態でご使用ください。



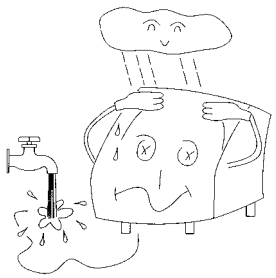
■ 熱のとどかないところに

直射日光のあたるところや、コンロ、ストーブなどの発熱源のそばには据付けないでください。冷却不良の原因になります。



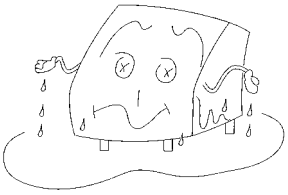
■ 雨や水のかからないところに

湿気の多いところや、水のかかり易いところに据付けないでください。絶縁低下から漏電・感電の原因になります。また屋外で使用しないでください。雨水のかかるところでご使用されますと、漏電・感電の原因になります。



■ 水がもれても大丈夫なところに

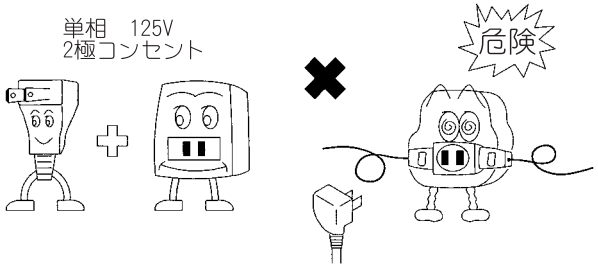
梅雨時期や湿度の高い日など、本体についた露が床に垂れることがあります。水滴が落ちてはいけないところに据付けないでください。



■ 電源は専用コンセントを

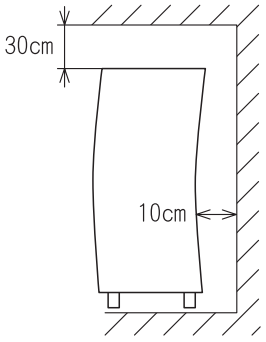
電源は専用コンセントを使用し、電源コードは途中で接続したり延長コードの使用、タコ足配線をしないでください。感電や発熱、火災の原因になります。

単相…100Ｖ　15Ａ　2極コンセント



■ 風通しのよいところに

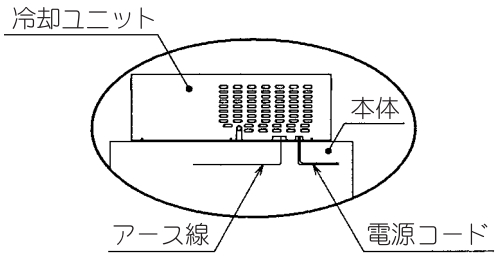
貯蔵庫上部は必ず30cm以上あけてください。特に冷却ユニットのあるところは空気がスムーズに流れるようにしてください。熱がこもると冷えが悪くなることがあります。換気扇などを設けて熱を逃がすと効果的です。背面は必ず10cm以上、また側面も10cm以上あけてください。



■ 必ずアース工事を

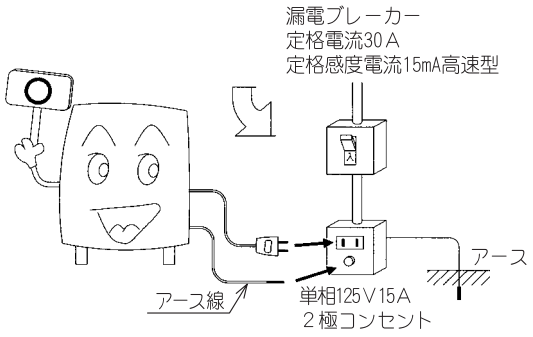
アース工事を行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は感電の原因になります。

（電気工事業者によるＤ種接地工事が必要です。）



やむなく水気のあるところ、湿気のあるところでご使用になる場合は漏電ブレーカーを取付けるように法律で定められています。上記以外のところでご使用になる場合でも万一の感電事故防止のため、漏電ブレーカーの取付けをおすすめします。詳しくは販売店、または資格のある専門業者にご相談ください。

(注)漏電ブレーカーは定格容量30A、定格感度電流15mA 高速型を使用してください。

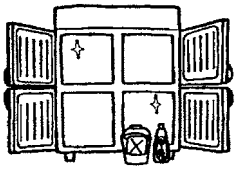


4．お使いになる上でのご注意

- 本ユニットには加温機能はありません。
  冬期など周囲の温度が低い場合、庫内温度が設定温度より下がることがあります。保管物の品質を損う原因になることがある場合、別の場所に移すなどの処置をしてください。

■ お使いになる前に

扉を開けてしばらく空気を庫内に送りこんでください。
庫内は十分に清掃していますが、念のためにもう一度きれいに清掃してください。



■ 正しくお使いいただくために

玄米・野菜・飲料品の保存用としてご使用ください。目的外の用途でご使用されますと保存品の品質低下などの原因になることがあります。

医薬品・学術試料などの保存はおやめください。警報装置のついた専用冷蔵庫をご使用ください。

市販の袋入り寒冷剤（硝安、尿素を含む）は庫内に入れないでください。中身がもれると錆や故障の原因になります。

エーテル･ベンジン･アルコール･プロパンガス･接着剤などの揮発性、引火性のある薬品およびその類似品は絶対に庫内へ入れないでください。爆発や火災などの原因になります。

貯蔵庫でも凍ることがあります。貯蔵庫の吹出部にビンやカン類を入れないでください。中身が凍って割れ、ケガの原因になることがあります。

保冷以外の用途に使用しないでください。
本ユニットは、保冷専用ですので、熱いものを庫内に入れないでください。

吹出ダクトを取り外さないでください。
庫内の冷えが悪くなる原因になります。

凝縮器の吸込口、温風吹出口のまわりに物を置かないでください。
冷えが悪くなり故障の原因になります。

■ 玄米貯蔵

玄米を貯蔵する場合は、水分を16%以下にまで乾燥して、紙袋で貯蔵してください。

冷えた玄米を外気にさらすと、表面に露が付き（結露）玄米の表面が白くひび割れを起こすことがあります。紙袋の口は開けないでください。精米直前に開封してください。

精米を行う場合は袋を庫外に出し、中の玄米が外気温度と同じになってから精米してください。夏場は温度差が大きいため12時間以上の時間が必要です。

初夏から夏（６～９月）にかけて玄米を取出す時は早朝の温度が低いとき取出すようにこころがけてください。

「米」／「野菜」モードの設定を「野菜」にして玄米を貯蔵しないでください。玄米にカビが発生します。必ず「米」にして使用してください。

玄米と野菜を同時に貯蔵しないでください。庫内の湿度が上がり、玄米にカビが発生することがあります。

■ 製品の設置、移動

製品の設置の際は、必ずアジャスタが接地するまでのばして使用してください。

移設は、販売店または、資格のある専門業者にご相談ください。据付け不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。

製品を移動するときは、転倒に十分気をつけてください。転倒によるケガの原因になることがあります。

移動の際は、玄米を庫外に出してから移動させてください。

■ 必ず次の事をお守りください



周囲温度が5℃～35℃以外のところで使用しますと、電力の浪費ばかりでなく故障の原因になります。

ラッカーペイントなど強燃性のスプレーや揮発性、引火性のある薬品およびその類似品は製品の近くでご使用しないでください。スイッチの火花などで引火し発火の原因になることがあります。

製品の近くでガス漏れが発生した場合、引火爆発を防ぐため、貯蔵庫やコンセントに手を触れずに、まずガスの元栓を閉めて換気をしてください。

製品に直接水をかけたり、水を使って洗ったりしないでください。ショート、感電の原因になります。

濡れた手で電源プラグなどの電気部品には、触れないでください。またスイッチ操作をしないでください。感電の原因になることがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、プラグを持って行ってください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。

電源プラグを抜いたときは再び差し込むまで5分以上間をおいてください。すぐに差し込むとコンプレッサに負担がかかり一時的に動かないことがあります。

電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

漏電ブレーカーは定期的に動作確認をしてください。漏電ブレーカーを故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

漏電ブレーカーが作動した場合には、販売店または資格のある専門業者にご相談ください。無理な電源の復帰を行うと感電・火災の原因になります。

製品の上には、ものや水を入れた容器を置かないでください。落下しケガをしたり、こぼれた水で電気製品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

冷却ユニット部の上にものを載せたり、手を入れたりしないでください。ファンが高速回転していますので、発熱やケガの原因になることがあります。

扉にぶら下がらないでください。扉の脱落や製品転倒によるケガまたは漏電・感電の原因になります。

製品の上に乗ったり、ものを載せたりしないでください。転倒・破損・落下などによりケガの原因になることがあります。

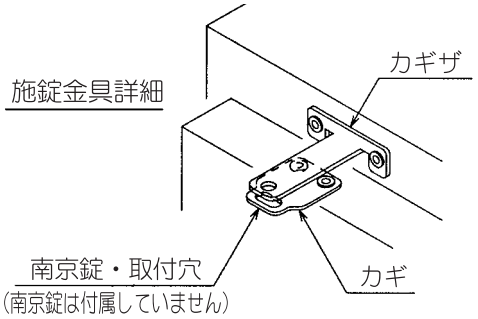
空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないでください。ファンが高速回転していますのでケガの原因になることがあります。

長期間ご使用にならない場合は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。ほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

■ 施錠するときは

カギを使用するときは、扉を閉めた状態で市販の南京錠を取付けてください。

玄米を出し入れするときは、カギザに注意して作業してください。ケガの原因になります。



5．運転操作

運転の仕方

■ 運転開始です

1.本体背面にある電源コードをコンセントに確実に差し込んでください。
2.庫内が十分に冷えてから（2時間程度運転してから）品物を入れてください。

■ 庫内の温度調節は

1.電源を入れたときには、「米」モード12℃に設定されています。
2.温度設定スイッチの「低」または「高」を押しますと、設定温度を表示します。
3.温度調節は、2～20℃の範囲で、1℃単位の設定ができます。
4.設定を低い温度に変更するとき
- 温度設定スイッチ「低」を押し、設定温度を表示させます。
- 1秒以上押しつづけると設定温度が変更されます。
- スイッチをはなすと、約5秒後に庫内温度表示にもどります。
- 設定を高い温度に変更するときは、温度設定スイッチの「高」を押して操作します。

■ 庫内温度表示は

庫内温度はデジタル表示されます。
- デジタル表示が点灯時は運転中です。
- 庫内温度の表示範囲は、－9℃～＋40℃です。

■ 霜取は

1.マイコン制御により、全自動霜取を行います。
2.霜取中は、「 dF 」の表示をします。
3.霜取終了直後、設定温度より高い温度を表示することがあります。これは、冷却器付近の局部的な温度上昇を感知しているためで、品物に影響はありません。
4.霜取中は、庫内ファンモータは運転します。

異常表示

異常が発生した場合、その内容をお知らせする表示を行います。

種　　類	異常表示	表　示　内　容
庫内温度異常	「U」と「01」を交互に点滅表示	庫内温度の高い状態が続いています。 • 扉の閉め忘れは、ありませんか。 • 周囲温度は、高くありませんか。 庫内温度が下がると解除されます。
庫内温度センサ異常	「H」と「01」を交互に点滅表示	センサに異常が発生しました。 この表示の時は、マイコンにより応急運転を行います。 お早めに、販売店、当社サービス店までご連絡ください。

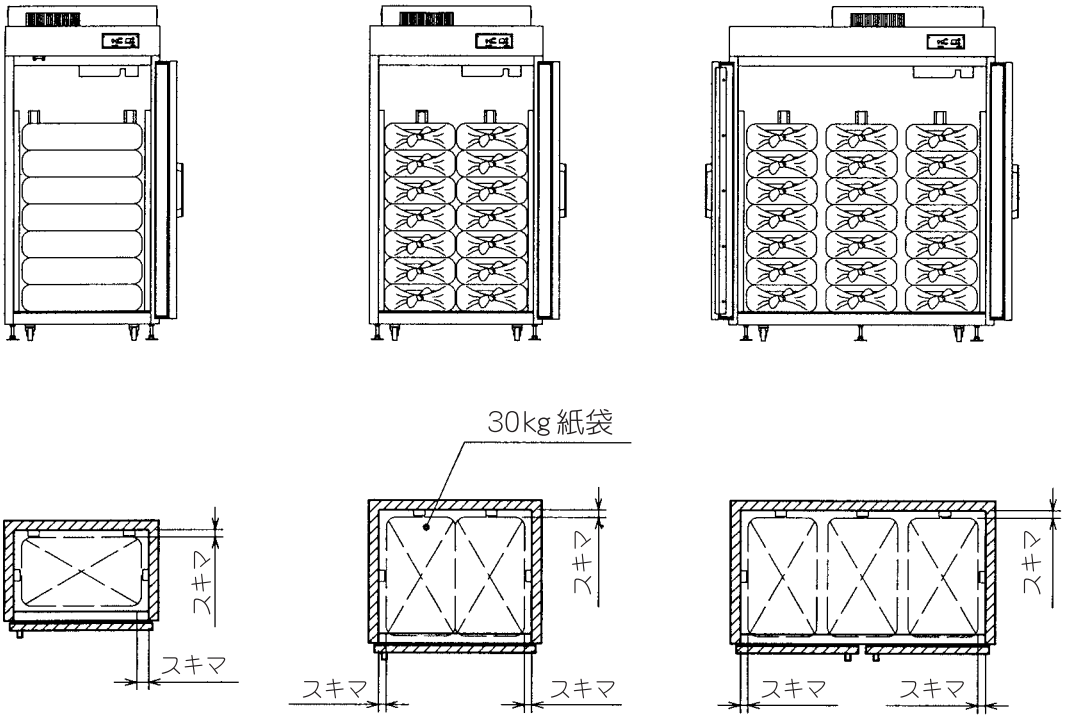
6．上手な使い方

■ コメ袋の積み方

つめ込みすぎは冷えむらや冷却不良の原因になります。また冷気吸込口や冷気吹出口をふさがないでください。

玄米袋は均等になるように積んでください。片荷になりますと扉の段差が生じ、扉が閉めにくくなったり、本体に露が付く原因になります。
収容量は30kgの紙袋で、COL７１は7袋、COL１４１は14袋、COL２１１は21袋です。
ただし、玄米を詰めた袋の形によっては、その数だけ入らないことがあります。

収容量は、あくまで目安としてください。

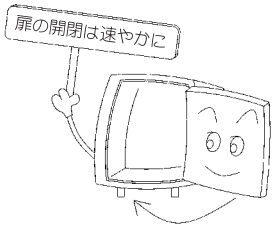


COL７１　　COL１４１　　COL２１１

■ 扉の開閉はすみやかに

扉のむだな開閉は電力の浪費につながります。また、せっかくの冷気が逃げて庫内の温度が上昇してしまいます。特に長時間の開けっぱなしはさけてください。

(注)扉を閉めた直後、一時的に開きにくくなることがあります。



■ オプション棚の使い方

玄米袋が減ってきたら、別売の棚でビールやジュースを保管できます。

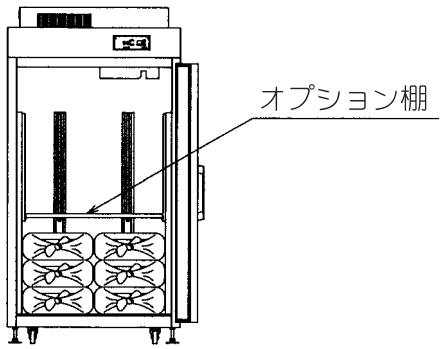
	オプション棚の型式	棚の寸法
COL71	T70	580 × 410
COL141	T140	730 × 410
COL211	T210	1330 × 410

玄米とビールやジュースをいっしょに入れる際は必ず米←→野菜のモード設定を「米」にして使用してください。

棚には60kgを超えるものを載せないでください。破損によるケガの原因になることがあります。

棚には貯蔵物が均一になるように載せてください。

棚の取付けは確実に行ってください。脱落するとケガの原因になることがあります。



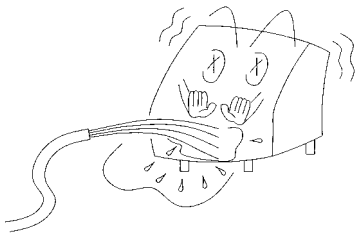
7．お手入れの仕方

■ 清掃のときは

清掃をするときや整備・点検のときは必ず電源を切ってください。感電やファンによるケガの原因になることがあります。

■ 水をかけないでください

この製品の外側や庫内へ直接水をかけて清掃をすることはショート、感電の原因になりますので絶対にさけてください。



■ 殺菌消毒剤などを使用する場合は

殺菌消毒剤などを使用する場合は、その用途・使用上の注意に従って使用してください。腐食性のあるものを使用すると故障の原因となります。

■ お手入れは

扉パッキンに乳酸飲料や調味料がついたままお使いになりますと、早く傷みます。また鉄粉などが付着しやすくもらい錆の原因となりますので、こまめにふいてください。

扉パッキンの当るところも忘れずにふいてください。

本体や扉パッキンはやわらかい布でふいてください。汚れのひどいときは、ぬるま湯か適量にうすめた食器用洗剤を含ませた布をよくしぼってふきとってください。洗剤はスプレー等で直接かけないでください。

住宅用洗剤、シンナー、ベンジン、アルコール、石油、粉石けん、みがき粉、アルカリ性洗剤、熱湯、酸、塩素系殺菌消毒剤（次亜塩素酸ナトリウムなど）、たわし、化学ぞうきんなどは使わないでください。プラスチック、金属類を傷めることがあります。

洗剤を使ったあとは洗剤分が残らないよう水を浸した布をよくしぼってふきとってください。

取手などの樹脂部分に直接洗剤をかけることは絶対にしないでください。

8．修理・サービスを依頼する前に

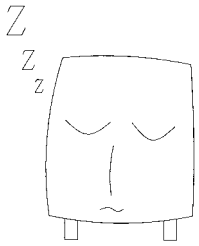
故障かな？とお思いになりましたら、下記の点をご確認ください。
それでもなおらないときは、お買い上げの販売店までご連絡ください。

専門業者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。

製品の異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切ってください。異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。

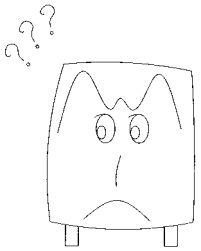
■ ぜんぜん冷えないときは

- 停電ではありませんか。
- コンセントの差し込みは確実ですか。
- ヒューズやブレーカーは切れていませんか。
- 周囲温度が高すぎませんか。



■ よく冷えないときは

- 直射日光を受けていませんか。
- 発熱器具がそばにありませんか。
- 扉をあけっぱなしにしていませんか。
- 食品をつめ込みすぎていませんか。
- 温度設定は適切ですか。



9．移動・移設されるときは

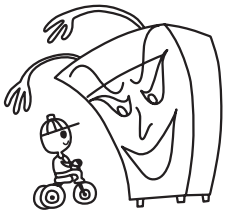
移設は、販売店または、資格のある専門業者にご相談ください。据付け不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。

製品を移動するときは、転倒に十分気をつけてください。転倒によるケガの原因になることがあります。

製品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを傷つけないように移動してください。コードの損傷により、感電・発火の原因になることがあります。

製品を移動するときは、商品および棚板などの部品は取出してください。落下によるケガの原因になることがあります。

10. 処分されるときは



製品の使用を一時的に中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避け扉を密閉できないようにしてください。幼児が閉じ込められる原因になります。

廃棄は専門の業者に依頼してください。放置しますと幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。

平成14年 4 月より業務用冷凍空調機器を廃棄する場合は「フロン回収破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられていますので、お買い上げの販売店までご相談ください。

11. 保証について

■ この製品は徹底した品質管理のもとにお届けいたしておりますが、万一故障した場合、「保証書」の記載内容により保証期間内は無料修理をいたします。詳細は「保証書」をお読みください。

■ お客様ご自身での製品改造または修理につきましては保証をいたしかねます。

■ 製品はたえず改良を行っていますので、予告なしに仕様を変更することがあります。

■ 製品事故に起因した、冷却物・営業保証などの二次保証はいたしません。
二次災害の恐れのある場合には、定期的な温度管理を行っていただくとともに、お買上げの販売店とご相談のうえ警報システムの設置・予備機の設置などをご採用ください。
また、事前の損害保険をお願いします。

12. 仕様

※１袋＝玄米30kg

型　　式			COL71	COL141	COL211
広　　さ			0.15坪（0.49㎡）	0.2坪（0.72㎡）	0.36坪（1.2㎡）
貯蔵の目安※		（袋）	7	14	21
庫内寸法	高　さ	（mm）	1,428	1,428	1,428
	幅	（mm）	648	798	1,398
	奥　行	（mm）	500	650	650
質量（ユニット含む）		（kg）	85	100	100
冷却ユニット	設定温度範囲	（℃）	2　～　20		
	運転可能周囲温度	（℃）	0　～　43		
	電　　源		単相100Ｖ		
	電源コード長さ	（m）	4.0		
	定格消費電力 50Hz／60Hz	（W）	180／195	184／199	207／217
	使 用 冷 媒		R134a		

（よりよい製品を造るために予告なく仕様を変更する場合もありますのでお含みください。）

株式会社 共立

東京都青梅市末広町1-7-2　〒198-8711　☎0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東1-2-20　〒004-0041　☎011-891-2249(代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東5-1-50　〒984-0002　☎022-288-0511(代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-1091(代)

中部共立エコー株式会社
愛知県清須市西枇杷島町宮前1-39　〒452-0031　☎052-502-4111(代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田566-159　〒701-0221　☎086-296-5911(代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原5-3-7　〒816-0943　☎092-573-5361(代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-6777(代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

© 2008 株式会社 共立　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

D23282A01